

呼吸器疾患検診はもう受診しましたか

9月24日～30日は結核予防週間です。この機会に検診を受診して、予防に努めましょう

結核

国民病として恐れられ、50年前までは、死亡原因の1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている恐ろしい病気です。

肺がん

日本人の死因の1位が悪性新生物(がん)です。その中でも、肺がんになる人は多く、死亡率も高いです。喫煙者に多いと言われていますが、非喫煙者でも肺がんになる人もいます。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)

たばこなどの有害な煙を吸い込むことで、空気の通り道である気道(気管支)や酸素の交換を行う肺(肺胞)などに障害が生じる病気です。

空気の出し入れがうまくいかなくなることで、通常の呼吸ができなくなり、息切れが起ります。長期間におよぶ喫煙習慣が主な原因のため、「肺の生活習慣病」と呼ばれています。

問すこやか生活課

☎(581)0201
☎(581)1628

検診名	対象	受診料	実施期間	実施場所
結核検診	65歳以上	無料	平成31年 2月28日(木)まで	守山・野州市内の実施医療機関
肺がん検診	40歳以上	胸部X線検査 1,000円 喀痰細胞診(※1) 1,500円		済生会守山市民病院 ☎(582)5151
COPD検診	COPD質問票を返送した人で、COPD受診券をお持ちの人(※2)	1,500円		

※1 原則50歳以上で、喫煙本数(1日)×喫煙年数=600以上(過去の喫煙も含む)の人が対象。

※2 平成31年3月31日現在、60・65・70・75歳の人が対象。対象者には5月に質問票を送付しています。質問票の提出がまだの人は提出をお願いします。

消費生活センター情報⑥ ※窓口寄せられた相談事例をもとに、安心・安全な消費生活のアドバイスを提供します。



くらしのたより

問市消費生活センター
(市民協働課内)
☎(582)1148 ☎(583)3911

今回のポイント

災害に便乗した悪質商法に注意しましょう

Q 公的機関を名乗るところから、先日発生した地震や豪雨災害への寄付金や義援金を求める電話がきました。これは信用していいのでしょうか？

A 公的機関が電話で、寄付金や義援金を求めることは決してありません。はっきり断りましょう。

災害が発生したときは、公的機関やボランティアを名乗る者によって寄付金や義援金をだまし取られるという被害が多発します。不審な電話や訪問は、応じることなく断るようにしてください。

また、災害直後には屋根や壁の亀裂点検、雨漏り点検、修理工事などを勧めてくる業者もいますが、その場ですぐに契約はせず、ほかの業者にも見てもらい本当に必要な工事なのか確認するようにしてください。

万が一、詐欺に遭われたり、不審に思うことがあれば、守山警察署や市消費生活センターにご相談ください。

